

福島

FUKUSHIMA

医療・介護支援者とともに救命率向上に向けて

9月20日、当署において、福島区医師会等が主宰される「福島区の在宅医療を考える会」のメンバー約70名と救急隊員等が参加して、「医療・介護支援者とともに救命率向上に向けて」と題しての意見交換会が開催された。

「介護現場で救急車を要請するタイミングがわからない」等の質問が出され、救急隊からの回答に加え、松下医師会長からのアドバイスもあり、お互いに協力して救命率の向上を目指すことを確認できる非常に有意義な意見交換会になりました。(大津)



北

KITA

自衛消防協議会技術発表会

10月10日、晴天の秋空の下、北自衛消防協議会技術発表会を実施した。3人1組で消火器による初期消火を実施した後、屋内消火栓設備を使用して放水、安全かつ迅速に消火することを目的とした内容で、今年度は2コース制を採用。隣のコースの隊が気になったり、ホースが折れないようにさばいたり、難易度の高い技術発表会でした。

50隊150名の頂点に立ったのは、男子隊の部、女子隊の部ともに大阪ターミナルビル株式会社ノースゲートビルでした。(内山)



中央

CHUO

大正モダンを守る愛

北浜駅の周辺、大正モダンの雰囲気なたたえる地域の一角に並び建つ、登録有形文化財の青山ビルと伏見ビル。この度、優良防火管理者として表彰される方々の中に、この2つの歴史的建造物の防火管理者が含まれています。

どちらの防火管理者も、中央区の歴史を見つめて続けてきた建物を愛し、街を愛し、近隣と連携をとりながら防火に取り組んで来られました。これからも更なる安全の歴史を刻んでいただきたい。(川勝)



都島

MIYAKOJIMA

防火・防災は身近な家庭から

秋晴れとなった10月4日、桜宮女性防火クラブ員35名が、高度専門教育訓練センターで実施された「消防体験教室」に参加されました。

カセットボンベ火災の性状やトラッキング電気火災の実験を見学後、天ぷら油の消火訓練、煙中体験など実践型研修を体験された経験を、これからも、身近な家庭から地域の防火・防災に活かして頂きたいと思います。(守屋)

